

桃青



周逸喬
「双囍 (ShuangXi) II」
H46×W22 ×D20cm
漆・木・フェルト・樹脂



隗楠
「花顔」
H20×W14 ×D8cm
漆・生皮 漆皮技法



賀蘭
「欲の皮」
H45×W45cm
乾漆粉・L G 粉・漆・色漆・
螺鈿・銀箔・卵殻

Colors & Shapes 色の遣い・形のありさま

— 周逸喬・賀蘭・隗楠 三人展 Series2 —

会期：2023年5月9日（火） - 2023年5月27日（土）

桃青京都ギャラリー Gallery A

〒604-0924 京都市中京区一之舟入町 375 SSS ビル 1 階

開廊時間：11:00-18:00 定休日：日・月

※最終日 16:00 閉廊

桃青

プレスリリース

桃青京都ギャラリーでは、京都市立芸術大学大学院において漆芸を学ぶ留学生、隗楠（ウェイ・ナン）、周逸喬（シュウ・イッキョウ）、賀蘭（ガ・ラン）による三人展「Colors & Shapes 色の違い・形のありさま—周逸喬・賀蘭・隗楠 三人展 Series2—」を開催いたします。

漆という共通の素材を用いて、自然、生命、ジェンダー、倫理など、3人それぞれが抱える課題意識を独自の技法を用いて表現しています。本展では、ジェンダーや生死観の視点で生活の断片的な現象を捉え、漆芸とアクリル絵画を創作する周逸喬と、現代アートにおける漆の新しい可能性を探究する賀蘭の作品を中心に展示いたします。瑞々しい感性と、繊細で力強い表現力を併せ持つ若手作家の競演をぜひご覧下さい。

◇ 技法とコンセプト

周逸喬

周逸喬は、社会におけるジェンダーや生死観の視点で生活の断片的な現象を捉え、漆芸とアクリル絵画を創作しています。本展では周が近年手がける「蘭花指」(らんかし)をモチーフにしたオブジェ6点と、「生死疲労」(しょうじひろう)シリーズのアクリル画3点を展示いたします。

近年の「蘭花指」のシリーズは、人間の手というモチーフに執着しています。最初はジェンダーレスである印相に由来する伝統的な要素でしたが、やがて中国演劇では封建社会の中で生きる女性の象徴として引用されるようになりました。また現代社会に存在する男女の格差をも示し、蘭花指は、中国文化において女性や男性のアイデンティティがいかに伝統的な理想に囚われているのかという事実を突きつけます。私がこの仕草を「装飾的」または「楽しい」ものとして強調するのは、社会が暗に要請してきたネガティブな意味合いを取り除こうとする態度からです。また、絵画では仏教における輪廻転生の概念を背景に、残酷な死亡である命の逝去と新生命へのお祝いが混じり合うような場面を描いています。

(周逸喬)

賀蘭

賀蘭は、伝統的な漆芸を学んだ上で、現代アートにおける漆の新しい可能性を探究しています。本展では、漆・色漆・乾漆粉・螺鈿・アルミ粉・金属・卵殻・銀箔など多様な素材を用いた加飾技法による絵画9点とオブジェ1点を展示いたします。

パソコンや、携帯電話など現代技術の発展で構築された充実したインターネット環境は、様々な課題を解決すると同時に、技術が生命や生態系に溶け込むことで、より複雑な問題も派生させています。例えば人の感情や、自分に対する意識、他人との関係性、大きく言うと倫理的な問題、社会問題などです。特に、新型コロナウイルスの感染蔓延は、殆どのコミュニケーションがリモートになることにより、「人間性の喪失」と「心の病気」の問題を現実的に浮かび上がらせました。あらゆるものが侵食されて

桃青

いく現代において、私はそれに対して感じた「危機感」と向き合い、人に考えさせる作品作りを目指しています。（賀蘭）

隗楠

隗楠は、飛鳥時代からの伝統工芸技法である漆皮技法を探究しています。皮革を漆で固めることにより造形する過程において、欠点とされる傾向にある素材の変形を生かし、柔軟性や伸縮性といった皮革本来の特徴を全面に引き出し表現しています。本展では、生皮を使った漆皮技法による作品1点を展示いたします。

私は動物の命から得た皮革素材は生き物と感じ、その命を漆を用いて形に留め、再び命の力を感じさせる作品を作りたいと思っています。皮革を引っ張ったり、皺を付けたりする制作過程の中で、偶発的な形との出会いがあり、その自由な形と美しい曲面を漆で留めることにより、自然の造形のような、生命力溢れる豊かな表現を生み出したいと思っています。（隗楠）

掲載用写真の貸出し、その他ご質問等ございましたら下記までご連絡頂けると幸いです。
是非、貴誌・貴社にてご紹介いただけます様お願い申し上げます。

桃青京都ギャラリー
〒604-0924 京都市中京区一之船入町 375 SSSビル 1階
info@gallerytosei.com
Tel: 075-585-5696 Fax: 075-585-5695

※次頁以降に作家プロフィールを掲載しております

桃青

周逸喬



1995年 中国生まれ

2017年 北京工業大学芸術デザイン学部工芸美術コース卒業

2021年 京都市立芸術大学院漆工修士課程 修了

現在 京都市立芸術大学院漆工博士課程 在籍

ロータリー米山奨学生

【主な個展】

2020年 宇治 曹洞宗・興聖寺「漆と絵展」

2021年 京都「台所の手」itonowa ギャラリー

2021年 静岡 曹洞宗・西見寺「煩惱展」

2023年 静岡「赤と緑」壺中天の本と珈琲

【主なグループ展】

2019年 北京「国際当代ジュエリー展」北京国際展示館

2019年 福島「あいつまちなか アートプロジェクト展」

2019年 上海 上海美術大学「アジア漆工芸交流プロジェクト」

2021年 京都駅ビル芸術祭ライブペイント・パフォーマンス

2021年 輪島 石川県輪島漆芸美術館「生新の時 2021—漆芸の未来を拓く」

2022年 東京 三井住友信託 自由が丘「コンナロ展」

2022年 東京 丸善ギャラリーB「Colorful & Mono」

2022年 東京 清アートスペース「SYMBIOSIS」三人展

2022年 東京 池袋東武「アートフェア東武」

2022年 東京 GINZA SIX Artglorieux ギャラリー「今昔絵図展」

2022年 東京 東京芸術劇場「KENZAN」

2022年 大阪 山中 suplex の別棟 MINE「The Road Not Taken」二人展

2023年 京都 桃青京都ギャラリー「漆のつや・形のありさま」三人展

2023年 京都 ちいさいおうち「山本冬彦選抜全国作家交流展」

【主な賞歴・コレクション】

2021年 韓国 清洲工芸ビエンナーレ 栄誉賞

2021年 京都市立芸術大学 大学院市長賞 学校資料館収蔵

2021—2022年 株式会社 Charm Care Corporation “Art Gallery Home” / 作品収蔵

2022年 京都 大丸「IIME FUKURAME 展」YOD 画廊賞

2022年 東京 松坂屋上野「IIME FUKURAME 展」八犬堂画廊賞



1994年 中国北京に生まれ
2016年 北京工業大学 芸術デザイン学部 装飾芸術デザインコース卒業
2019年 佐賀大学大学院地域デザイン研究科 地域デザイン専攻修了
京都市立芸術大学大学院美術研究科 漆工領域 博士後期入学

Profile

[個展]

2020年 「隗楠漆展 -夢の道のり-」 京都市立芸術大学大ギャラリー (京都)
2021年 「隗楠展 -漆・美の在り方-」 ギャラリーマロニエ (京都)
2022年 「shall we dance ・ Lacquer Art by WEI Nan」 ギャラリーSOIL (香港)

[グループ展]

2018年 あいづまちなかアートプロジェクト (会津・漆の芸術祭) 出品 (同'20)
2021年 Collect 2021 ,international art fair for contemporary craft and design (イギリス)
2021年 「New Wave」 ギャラリーSOIL (香港)
2021年 「隗楠・賀蘭 漆二人展」 ギャラリーアーティスロング (京都)
2021年 「Fine Art Asia 2021」 Hong Kong Convention and Exhibition Centre (香港) (同'22)
2021年 「秋展 ・ 対談と工芸」 ギャラリーSOIL(香港)
2022年 「王杰・隗楠 二人展 -ケミストリー関係-」 アートスペース余花庵 (京都)
2022年 「素きかたち URUSHI work 展」 ギャラリー月映 (金沢)
2022年 「新進作家五人展」 京都文化博物館 (京都)
2022年 「工芸アートフェア金沢 2022」 ハイアットセントリック (金沢)
2023年 「漆のつや・形のありさま」 桃青京都ギャラリー (京都)

[受賞歴]

2017年 第56回日本クラフト展 入選 (同'19)
第67回佐賀県美術展覧会佐賀銀行 文化財団賞
2018年 第57回日本クラフト展 学生賞
第1回日本新工芸学生選抜展 入選
2020年 第59回日本クラフト展 奨励賞
第12回国際漆展・石川2020 入選
2021年 池袋アートギャザリング公募展「IAG AWARDS 2021」 入選
韓国清洲国際工芸コンペティション 特別賞
第21回学生限定立体アートコンペティションAAC2021 最優秀賞
2022年 第22回学生限定立体アートコンペティションAAC2022 入選

[コレクション]

2023年 V&A Museum (イギリス)

賀 蘭



1992年 中国甘肅省 生まれ
2015年 中国美術学院 学部 漆画専攻 卒
2022年 京都市立芸術大学 大学院 工芸漆工専攻 修士課程 卒
現在 京都市立芸術大学 大学院美術研究科 漆工研究領域 博士 在籍

Profile

[個展]

2021年 個展「人間 養分 ネット」 ギャラリーマロニエ (京都)

[グループ展]

2013年 源・流 中国漆芸術作品展 杭州市蕭山跨湖橋遺跡博物館 (中国)
2014年 漆語・中国美術学院漆芸術作品展 中国美術学院美術館 (中国)
2014年 「大漆の芸術」ー 海峡漆芸術展 中国美術館 (中国)
2015年 中国美術学院 卒業展 中国美術学院美術館 (中国)
2015年 「漆現在」福建省美術館蔵漆芸新世代作品展 福建省美術館 (中国)
2015年 髹漆の深さー 国内外髹漆芸術授業研究展 广州美術学院大学城美術館 (中国)
2018年 京都市立芸術大学 留学生展 ギャラリー@KCUA 京 (京都)
2019年 京都市立芸術大学 留学生展 ギャラリー@KCUA 京 (京都)
2021年 「隗楠・賀蘭 漆二人展」 ギャラリーアーティスロング (京都)
2022年 京都市立芸術大学 卒業展 京都市京セラ美術館 (京都)
2022年 生新の時 2022ー漆芸の未来を拓くー 石川県輪島漆芸美術館 (石川)
2022年 「贈り物 展」 ギャラリー恵風 (京都)
2023年 「漆のつや・形のありさま」 桃青京都ギャラリー (京都)

[コレクション]

2014年 漆画「inthecity」 中国福建美術館 (収蔵)
2015年 漆画「ME」シリーズ 中国福建美術館 (収蔵)
2015年 立体乾漆「ピエロ」 中国福建美術館 (収蔵)